

質問回答

2018年12月18日

「ベトナム国ベトナム株式市場の公正性及び透明性改善に向けた能力向上プロジェクト」

(公示日 : 2018 年 12 月 5 日 / 公示番号 : 180483) について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通 番 号	当該頁項目	質問	回答
1	P11	上位目標 1-1 は、「情報開示規定を順守する企業の割合が xx%以上に上昇する」とされています。情報開示規定にも様々なものがあります。どの情報開示を基準とするかについては、プロジェクト開始後の調査を経て、適切な項目を定めて望ましい目標値を設定するということがよろしいでしょうか？	ご理解の通りです。プロジェクト開始後のベースライン調査を経て、適切な項目を定めて望ましい目標値を設定することを想定しています。
2	P12-14, P15-16	成果 1, 2, 3 に係る業務として日本における研修を年 1 回程度実施することが想定されていますが、これは成果ごとに時期をずらして異なる 10-15 名の研修団を招へいする年に 3 回の日本研修という意味でしょうか？	必ずしも成果毎の別々の実施に限定することなく、対象とする参加者・プログラム内容に応じ効率的な研修計画をプロポーザルにてご提案ください。詳細は、業務指示書「5. 実施方針及び留意事項(13)プロジェクト活動中に実施するベトナム国内外での研修」も参照ください。
3	P12-14, P15-16	成果 1, 2, 3 に係る業務として現地研修、成果 4 では 100 名規模の現地セミナーが予定されています。いずれもハノイ、ホーチミンの両方で開催するという理解でよろしいでしょうか？	質問回答 2 とも関連しますが、ハノイ、ホーチミン両方のセミナー実施を義務付けるものでなく、開催場所も含め、対象とする参加者・プログラム内容に応じ効率的なセミナー計画をプロポーザルにてご提案ください。

4	P18	<p>成果4の(1)は、成果3の内容と重なっているようです。第1-2期と同様に100名規模のセミナーを1-2回開催することを想定していますでしょうか？</p>	<p>企画競争説明書の記載に一部誤りがあり、第3期の成果4に係る活動について、以下の通り修正します。</p> <p>【修正後】</p> <p><成果4に係る業務>第3期において、以下の事項が実施されるものとする。</p> <p>(1)ベトナム株式市場の魅力・現状について、潜在的な海外投資家をターゲットとしたロビーイングセミナー(投資誘致セミナー)を実施する。実施場所は日本を含むベトナム国外を想定しているが、詳細は第3期開始時にSSC・HNX・HOSE、JICAと協議のうえで決定する。なお、セミナーの実施回数は第3期期間中に1-2回程度、各回の参加者を100名程度と想定しているが、具体的にはSSC・HNX・HOSEと協議して合意することとする。なお、セミナー実施に際し、会場は基本的にSSC・HNX・HOSEが準備することとし、コンサルタントの見積には、それ以外の費用(コンサルタント作成資料の翻訳・通訳費等)を見積に含める。</p> <p>【修正前】</p> <p><成果4に係る業務>第3期において、以下の事項が実施されるものとする。</p> <p>(1)第2期での業務進捗状況を踏まえ、SSC・HNX・HOSEが実行する上場管理及び株式公開の管理方法・施策の実行支援(新規作成・改訂された諸規則や実務マニュアル等のドラフトへの助言等)を行なう。なお、セミナーの実施回数は第3期期間中に1-2回程度、各回の参加者を100名程度と想定しているが、具体的にはSSC・HNX・HOSEと協</p>
---	-----	---	--

			<p>議して合意することとする。なお、セミナー実施に際し、会場は基本的に SSC・HNX・HOSE が準備することとし、コンサルタントの見積には、それ以外の費用(コンサルタント作成資料の翻訳・通訳費等)を見積に含める。</p> <p>(2) ベトナム株式市場の魅力・現状について、潜在的な海外投資家をターゲットとしたロビーイングセミナー(投資誘致セミナー)を実施する。実施場所は日本を含むベトナム国外を想定しているが、詳細は第3期開始時に SSC・HNX・HOSE、JICA と協議のうえ決定する。</p>
5	P18	投資誘致セミナーの規模については明記されていませんが、見積もり上は他のセミナーと同じように資料翻訳・通訳等のみを作成すればよろしいでしょうか？	ご理解の通りです。投資誘致セミナーについても他のセミナーと同様、見積もり上は他のセミナーと同じように資料翻訳・通訳等のみを含めてください。
6	P20	第3期のワークプランは英文のみであり、越文は不要でしょうか？	業務指示書では記載が漏れていましたが、第3期のワークプランは英文と越文も作成・提出ください。
7	P21	業務量の目途は 75.9M/M とされていますが、現地業務だけでなく国内業務がかなり多いと予想しており、3年間の合計としては少ないと考えております。必要と思われる業務量を提案したいと思っておりますが、構いませんでしょうか？	当機構としては本業務の業務量の目途は 75.9M/M と考えております。プロポーザルにて 75.9M/M より多い業務量の提案を妨げるものではありませんが、その場合、業務量の必要性、提案する業務量の根拠とともにプロポーザルにて提案をお願いします。プロポーザル記載の内容を踏まえて、プロポーザル評価を実施致します。
8	P21	現地研修だけでは足りない部分がある場合、Skype などを活用した講義・打合せを日越間で行いたいと考えています。カウンターパート側に PC があり、アプリが入っていれば問題ないと	Skype などを活用した講義・打合せのアレンジについて、PC やアプリの有無の確認は、プロジェクト開始後にコンサルタントが主体的に確認・申し入れをしていくことを想

		考えますが、その準備をカウンターパート側をお願いしていた だけませんか？	定しています。また4、このような講義・打ち合わせの具 体的なアレンジは、コンサルタント業務範囲として受注者 にてご対応ください。なお、JICA としても必要に応じ、そ れらを側面的に支援していきます。
--	--	---	---

以 上